

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス PICE串戸			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~ 令和7年 11月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~ 令和7年 11月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」（日常生活の充実と自立支援のための活動、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動）を複数組み合わせ、こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援を行っている。	さらに5領域の視点を踏まえたアセスメントを行った上で、こどものことを十分理解し、常勤職員全員で放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成する。
2	こどもは安心感をもって通所している。こどもは通所を楽しみにしている。事業所の支援に満足している。	家庭や学校で抱いた不快感・不満がおさまる居場所を提供、落ち着きを取り戻し、次の課題に向けて取り組めるように支援している。生きた知識をつくるための学びの手段としてゲーム療育を取り入れている。	土曜日の調理活動、創作活動、外出活動のプログラムの立案を常勤職員全員で行い、平日の活動プログラムも固定化しないよう新しい教材やボードゲーム等を取り入れ支援内容を工夫していく。
3	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている。	法人グループ内に相談支援事業所があり、管理者会議で課題に応じた委員会を立ち上げ、保護者対応について話し合う機会を設けている。	法人グループ内で外部講師によるアドバイザー契約を行っており、こどもの支援や保護者対応についての研修会を行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていること。また、兄弟向けのイベントの開催等により、兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、兄弟への支援がされていること。	感染症拡大のため、多数の保護者が集まる交流機会を積極的に行うことができなかった流れがある。また保護者同士の交流を望まない要望もある。	事業所内の創作活動で保護者、利用者の家族、知人が参加できるイベントを実施した。今後法人グループの総会で保護者研修や交流機会を広げていく予定。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があること。	事業所の対象が中高生で、支援を17時から行っており、放課後児童クラブや児童館とは支援時間も異なることから交流ができていない。	協議会の連絡会で地域との繋がりについての情報交換があり、そこで紹介していただいた地域交流イベント等に参加する機会を設ける。
3	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていること。	家族等も参加できる研修会について情報提供の機会や頻度が少ない。	協議会や相談支援事業所から発信される研修会について、保護者にポスター、手配りビラ、封書で伝えているが、今後はより個別のニーズに合わせた情報発信を行う。また、法人グループで保護者の関心があるセミナーを実施予定。